

# 成田空港における気候変動への取り組み

## 1. 成田空港においては、計画的に空港全体でエコ・エアポートの取り組みを推進

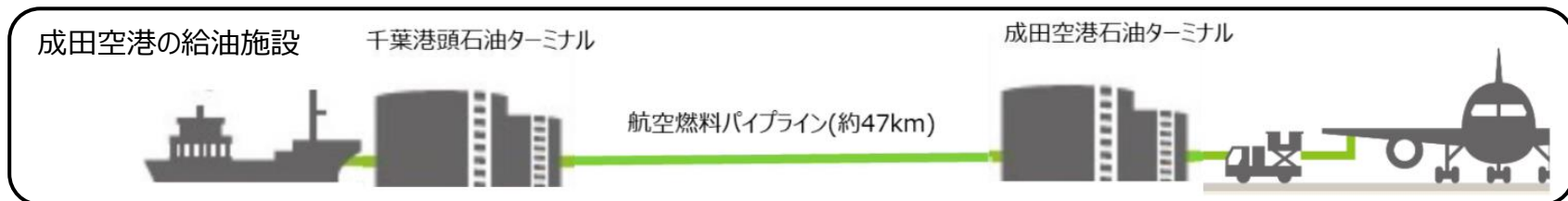
- 「エコ・エアポートビジョン2030」（目指す姿）と「エコ・エアポート基本計画」（実施計画）の2本立てで計画的に推進
- 気候変動への取り組みは、成田空港における環境への取り組みの重要な柱の一つで、**数値目標を設定**  
→ 2015年度比で発着回数1回あたり、2020年度は7%削減、2030年度は30%削減
- 「エコ・エアポート推進協議会」を組織し、**空港関連事業者と一体**となって取り組みを推進
- 上記に加えて、ACIの空港カーボン認証プログラム\*に参加し、CO2排出量の把握や計画的なCO2削減を実施

## 2. 成田空港におけるCO2排出量削減に向けて、SAF導入は有望

- 成田空港全体のCO2排出量のうち、**航空機起因（離着陸・地上走行・APU）が約7割**を占める
- 航空機の低燃費化は進んでいるものの、機材の大型化により、発着回数1回あたりのCO2排出量は過去2年で微増
- SAFの導入は、成田空港におけるCO2排出量削減に大きく寄与するものと思慮

## 3. 成田空港においてはSAFを導入済、今後も積極的にSAF受け入れを推進

- 成田空港の給油施設は弊社が運営しており、空港運営と一体となった取り組みが可能
- 昨年10月に成田空港に初めてSAFを導入（石油由来のジェット燃料と同様に既存の給油施設を利用）
- これまでと同じ搬入方法であれば、**SAF導入に伴う大幅な施設改修は不要**と思慮
- 今後もSAFを積極的に受け入れていくとともに、関係者と連携して更なるSAFの導入拡大に向けて取り組みを進めていく



\*ACI (Airports Council International : 国際空港評議会) が評価する、空港のCO2排出量削減に係る取り組みに特化した環境認証制度